

小さいのちのドアは思いがけない妊娠やもう育てられないと追い詰められ行き場を失った女性のための支援団体です
相談から生活支援、自立に向けての一貫した【医・居】【食・職】【住・充】の支援を行い、女性と小さいのちに寄り添うことを大切にしています

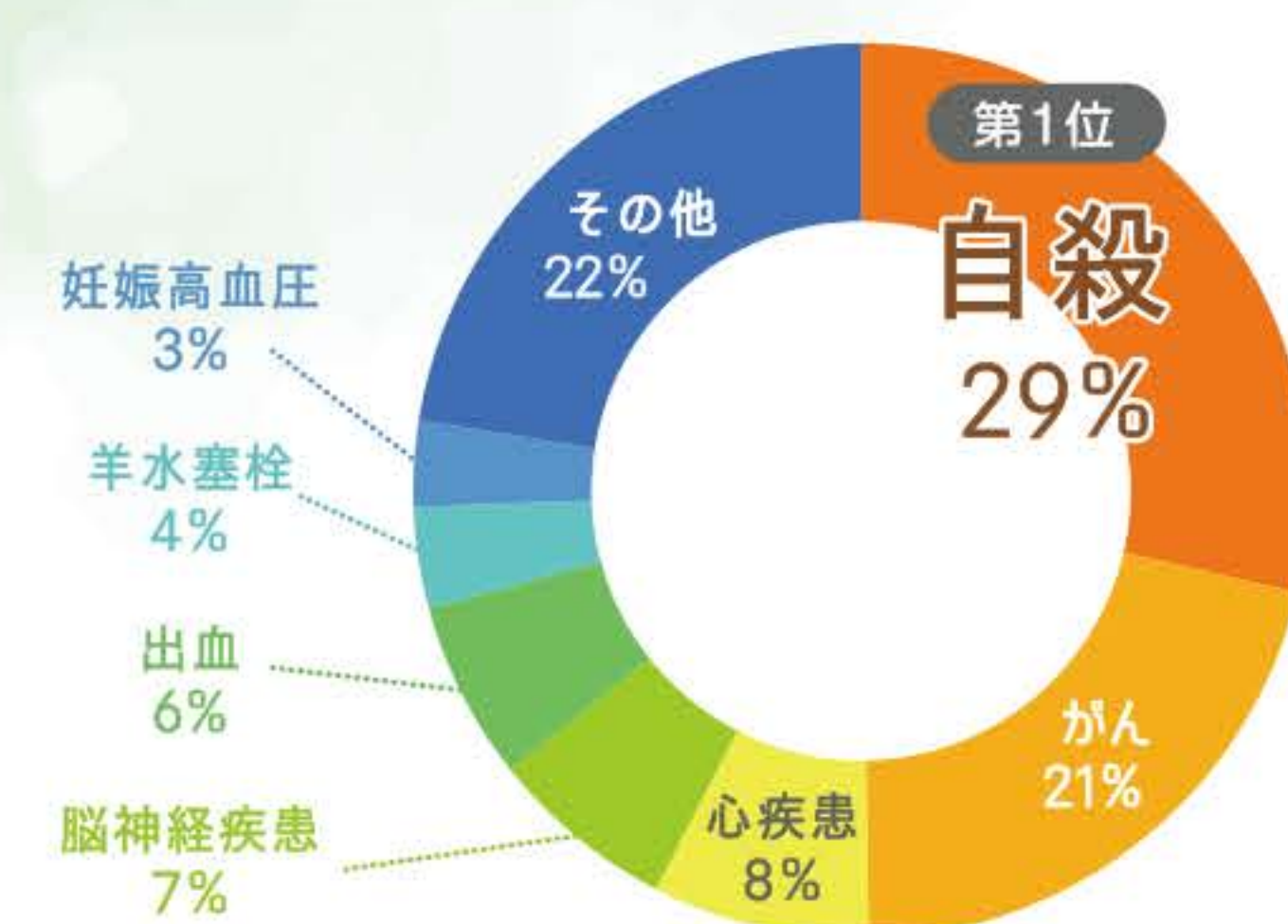
日本の現状

中絶による傷

現在日本では統計上年間約16万件（実数はその倍とも）の人工妊娠中絶が行われています。中絶に罪悪感や喪失感、うつ状態になる人や不妊症など、女性の人生に影響を及ぼしかねません。小さいのちと女性が傷つくことなく、死亡に至る事故も報告されていたり、生きる道を一緒に考えていきたいと願っています。



2020年人口動態・衛生行政報告より



国立成育医療研究センターなどのチーム 2015～16年における妊産婦死亡の調査より

妊娠・出産・育児におけるメンタルヘルスの問題

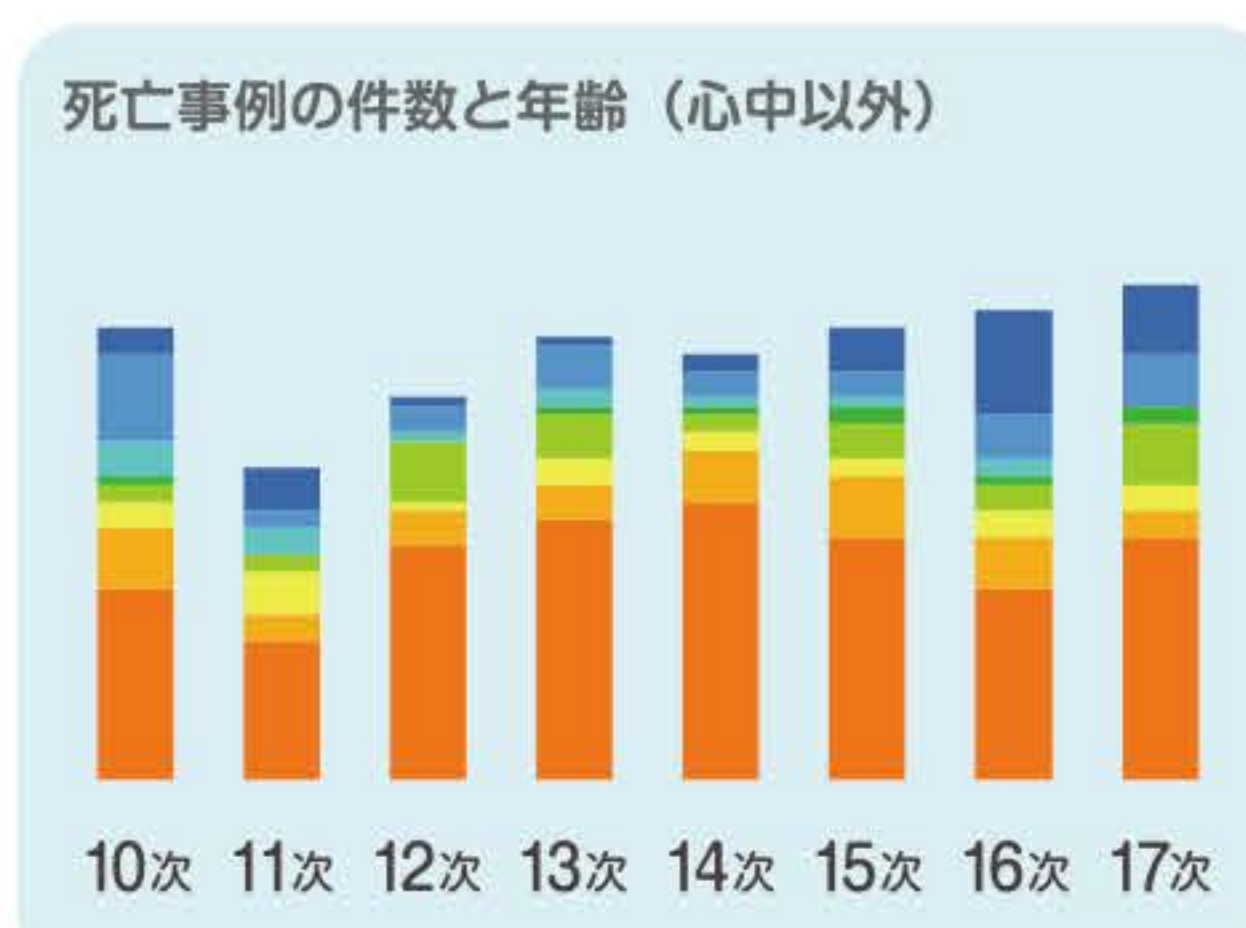
妊娠や子育てへの不安や生活環境の変化から、精神的に不安定になりやすく、産後うつなどメンタルヘルスの悪化で自殺に至るケースも多いと考えられています。サポートがあれば、防ぐことのできたものもあったでしょう。いつでも相談できる場所が、少し休む場所があれば救えたいのちがあるのです。

DVや虐待の増加

月に1人以上の新生児が溝や公園、ロッカーに遺棄されています。虐待死で一番多いのが0歳0日。その加害者はほとんどが母親。その全員が未受診で、多くが予期せぬ妊娠によるものでした。母親を責めることは簡単です。でもそうせざるを得なかった母親の背景に虐待や、夫からのDV(ドメスティックバイオレンス)を受けている事例も少なくありません。



児童虐待相談対応件数



子ども虐待事例の第17次報告より

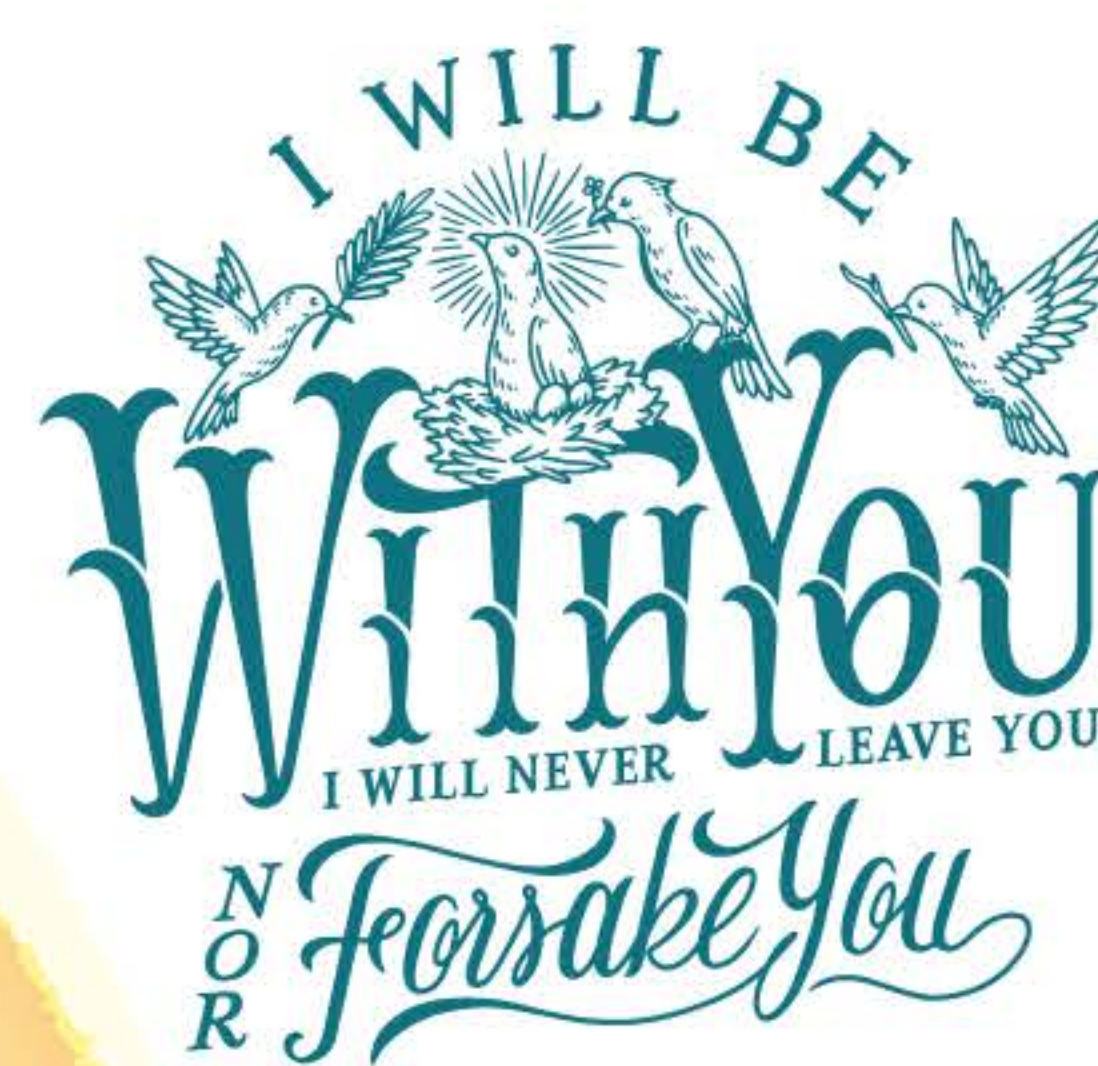
小さいのちのドアの活動

「小さいのちのドア」は、思いがけない妊娠や出産・育児で追い詰められた女性のための24時間開いている相談窓口です

小さいのちのドアが目指す社会

- * 結婚に至らない妊娠でも女性と胎児の尊厳が守られる社会に！
- * 産んだ後、赤ちゃんを託すこと(特別養子縁組)が認められる社会に！
- * 最も小さいのちである胎児や赤ちゃんが最も大切にされる豊かな社会に！

卵を守る鳥を温かくサポートする他の鳥たちのように一人で思い悩む女性に寄り添い



“私はあなたとともにいる。見放さず、見捨てない。”

そんな思いを込めて活動しています

【医・居】

24時間365日いつでも
電話・来所・メール・LINEなど
どんな方法でも相談できます

助産師や保健師など専門職が対応しています
予期せぬ妊娠などで悩む女性に寄り添い
笑顔で歩いていけるお手伝いをしています

Musubi Cafeなどを通して
女の子たちの居場所づくり

妊娠検査薬を使用した妊娠判定や
助産院と連携し診察することができます

初回受診～出産～産後をサポート
生と性の教育を実施

【住・充】

行き場のない妊産婦さんのための
安心安全に過ごせるマタニティホームを運営

行政や民間のサービスを活用し、自立までをサポート

サポーターの顧問弁護士や精神科医などもおり
様々な面からサポートできます

誰でも安心して相談できるように
匿名・無料で、相談できるようにしています

赤ちゃんが温かい家庭で育つこと
お母さんが幸せに生きていくこと
どちらも叶う生き方を一緒に探します

マタニティホーム「Musubi」

生活支援・自立支援

人と結ばれ
社会と結ばれ
絆が結ばれ
愛が結ばれる

そんな居場所になれたらと、思いを込めて名付けたマタニティホーム「Musubi」は、妊娠による様々な理由で行き場を失っている妊産婦さんのためのホーム。

相談や生活支援をはじめ、関連機関への連携や同行支援、ご自身で生活できるまでをサポートする自立支援などを行っています。

【食・職】

温かいバランスのとれた
食事や食卓の提供

自立に向けた
就労支援や学習支援

やりたい仕事や働き方を
一緒に考え、応援します

マタニティホームでできること

相談

電話・メール・SNS・来所、様々な方法で24時間365日いつでも、相談できます
妊娠や出産のこと、産後の生活のこと
仕事や学校、家族やパートナーのこと
どんなことでもご相談ください

医療福祉

妊娠の確認・カウンセリング・心身のケア
行政や病院とのパイプづくり・同行支援
民間団体との連携、性教育など

居場所

安全に安心して過ごせるお部屋を提供
妊娠期～産後の支援が必要な時期まで
専門職者によるサポート
いつでも行ける・帰れる場所の提供

食事

温かいバランスのとれた食事の提供
好きなものを作ったり
作ってもらったりすることができます

就労

やりたい仕事、働き方などを
一緒に考えて応援します

学習

セミナーボランティアさんによる
興味のあることの学習
高校認定試験や学校の勉強のサポート

仲間

ピアサポート
女の子の居場所プロジェクトなど



性教育「いのち語り隊」

いのち語り隊

いのち語り隊は、助産師等の専門家が視覚教材や体験教材を用いながら、子どもたちに「いのちと性」の大切さをお話ししています。2001年から活動を開始し、2022年4月より公益社団法人小さいのちのドアの性教育部門となりました。



いのち語り隊の考え方の一つである「小さな命に責任が持てるまではNO SEX!」のキャッチコピーは、TBSの「情熱大陸」のプロデューサーの賛同をいただき、放映されました。いじめや多発する青少年犯罪、低年齢化する性体験、10代の人工妊娠中絶や性行為感染症の増加、若者たちの自己中心的な考え方や大人社会への不信感を表す言動…「どうか、子どもたちの心が健全に育ちますように」と願わずにはいられません。

正しい性の知識を学ぶことは、いかに生きるかを考える学びであると共に、円満に人間関係を築く力が養われることにつながります。これからもちいさないのちや女性たち、こどもたちが笑顔で幸せに過ごせる社会の実現を目指して、自らの「性といのち」また他の人の「性といのち」を大切にできるように、いのちの輝きを語る活動を続けていきたいと思ひます。

講演依頼お申し込み

メールまたは、お申し込みフォームよりお申し込みください。
お問い合わせや講演内容などの詳細は以下よりご確認ください。

お問い合わせはこちら

078-743-2405

kataritai@door.or.jp

https://door.or.jp/kataritai



最も小さいのちや弱い立場にある人が大切にされる真の豊かな社会を目指して、困っている人、涙を流している人、孤独の中にいる人に、一緒に手を差し伸べませんか？

温かい社会があること、尊い存在だということ、諦めないでいいこと、そんな発信が出来る場所を目指し、こころ尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして愛を届けていきましょう